

先輩研修医の声

令和元年5月

幡多けんみん病院の初期研修医として2017年4月から2019年3月まで研修を行いました。あっという間に2年が経ち、不安なことばかりであった一昨年4月から比べると多少なりと成長を実感します。思い返せば多くの患者さんと出会い、多くの指導医、コメディカルの方々に支えられて働いてきたことを実感します。

1年目には内科系を中心とした必修科をローテーションし、2年目は将来の志望科である脳神経外科を多く研修しました。脳神経外科では、穿頭術の執刀やDSAの術者なども経験させていただきました。

幡多けんみん病院は幡多地域の中核となる急性期病院であり、救急を担うことが大きな役割となっています。研修医としても数多くの救急の症例を経験できましたが、毎日途切れなく救急搬送が続くわけではなく、時間に余裕のある日もありました。病棟、救急、当直と経験するのはもちろん大事ですが、働くだけでなく、本を開んだり論文を読んだりして、立ち止まって勉強する時間も成長するためには重要だと思います。幡多けんみん病院はそのバランスがとても良く、充実した研修を送ることができました。また指導医の誰もが忙しい中研修医の疑問に親身に答えてくれ、病院全体で研修医を育てていくような雰囲気があり、これ以上ない研修病院だと考えています。

4月からは高知大学脳神経外科で勤務となりますが、自分は地域枠学生のため数年後また幡多けんみん病院で勤務することがあると思います。その時には、自分が育ててもらったように後輩達の指導ができるように、また一人の医者として病院に恩返しができるように、今後も研鑽を積んでいきたいと思っています。2年間本当にありがとうございました。

【初期臨床研修 H30 年度修了 山崎大智】



研修医としてこの幡多の地で新生活をスタートさせたのが2年も前のことだと思うと、月日の早さを感じます。私にとってこの2年間は本当にあっという間でした。

研修を終えた今、無事に研修を終えることが出来てほっとしている気持ちと、来月からはもう研修医ではなくなるというドキドキと、けんみん病院を去らなくてはいけないという悲しい気持ちが入り混じっています。その中でも悲しい気持ちが強いのは、けんみん病院での研修が充実しており、とても楽しい日々を送れたからだ実感しています。最初は右も左もわからず、患者さんと接するのさえ怖いと感じる日々でしたが、少しずつ「医師であるということ」に慣れ、多くのことを学び、実践し、時には失敗も、前に進んできた2年間でした。これからは「医師であること」に慣れすぎず、初心を忘れないようにして、けんみん病院での日々を無駄にしないように4月から新天地で頑張らなくてはならないと思います。そしてまた多くのことを学び、けんみん病院に帰ってきたいと思っています。

最後になりましたが、とても充実した日々が送れたのは上級医の先生方はもちろん、同期・後輩の研修医、看護師さんをはじめとするコメディカルの方々にすべての方のおかげです。2年間本当にありがとうございました。

【初期臨床研修 H30 年度修了 高畑翔太】

先輩研修医の声

令和元年5月

医師国家試験に合格してから、医師として幡多地域に来て早2年が経ってしまいました。今回無事2年間の初期研修を終えることができ、幡多けんみんな病院から巣立っていくことになりました。不安や期待など様々な感情を抱えた状態で始まった初期研修ですが、研修を終えた今振り返ってみると、多くの方々に育てていただいた研修であったと感じます。研修させていただいた診療科の上級医や看護師、検査技師といった様々な職種の方々に多くの事を学ばせて頂きました。また一番多くの事は、診察させていただいた患者さんから学ぶことができたと感じます。幡多地域の患者さんは、気候に似て穏やかな方が多く、実際に接することがないと経験する事が無いことを教えて頂きました。何事においても経験の少ない初期研修医としては、とても恵まれた環境で研修期間を過ごす事ができたと実感しています。

4月からは、高知市内に戻る事になりましたが、この2年間で身に付けたものを糧に更に前進していけるように励んでいきたいと思っています。そして、また幡多地域に戻ってきて地域の方々に少しでも育てていただいた御恩を還元出来るよう目指していきたいと考えています。

【初期臨床研修 H30 年度修了 松岡溪太】



自分達が研修医として働き始めてあっという間に1年が経ちました。病院に携わるすべての人たちに支えられ、指導していただきながらこの1年間を過ごしてきました。

最初はいろんなことがわからず、病院スタッフはもちろん、患者さんにも不安感を与えてしまったり、迷惑をかけてしまったことがあったように思います。しかしその度に、がんばりや、と声をかけていただいたことが励みとなりました。地域の方々の協力のおかげで、研修医として経験を積むことができていると実感します。

少しずつ自分ひとりでできることが増えてきた反面、知識も経験も全然足りないと痛感する場面も多く、医学の厳しさに翻弄されています。わからないことにぶつかったとき、自分で本を読んだり、専門家に質問したりしますが、幡多けんみんな病院には指導熱心・勉強熱心な先生方やスタッフの方が多く、学ぶ土壌に恵まれていると感じます。

私は、人に寄り添った医療を目指したいと思っています。まだまだ独り立ちするには未熟で、目の前のことに精一杯ですが、今こうして、地域の中核である幡多けんみんな病院で経験したことは、きっと将来につながる大きな財産になると思います。

4月からは頼りになる先輩たちが研修医を卒業し、新しく後輩達が入ってきます。後輩たちにも、この病院の良さを生かし充実した研修を送ってもらえるように、またその次の世代へとつながっていくように、ときには指導し、ときには協力して学んでいきたいと思っています。

【初期臨床研修医2年目 前田美咲】

先輩研修医の声

令和元年5月

幡多けんみん病院での研修が始まって早くも1年が過ぎました。今振り返るとまさに光陰矢の如しという感じで過ぎた1年であったように思います。1年間の研修を終え、少しは病態の考え方や基本的手技、患者さんとのコミュニケーション力はついてきているのかなと思いますが、まだまだ足りないことできないことが山積みであり、あと1年で初期研修が終わると考えると不安と焦りの方が大きい印象です。その中でも、上級医の先生をはじめとした病院のスタッフさんの手厚い指導や支えもあって、自分は1歩ずつ進めていると思っています。その期待に応えられるように2年目の研修生活は今よりもっと積極性と自立性をもった姿勢で臨みたいと思います。

そして早くも1年目の後輩研修医がこの春より3人入ってきてくれます。カルテの使い方や基本的手技など、分からない事が多々あると思います。そういった点を少しでもサポートできたらなと考えています。そして一緒に幡多けんみん病院を盛り上げられればと思っています。

2年目の研修もより一層の成長ができるように、そして幡多地域の医療を支え人々の健康と生活をサポートできる人になりたいという初心を忘れず頑張っていきたいと思っています。

【初期臨床研修医2年目 濱田幸汰】



けんみん病院での研修もはや1年が経ち、2年目としてのスタートを切りました。臨床の現場に立ったとき、学生時代に学んだことが基礎にあることは間違いありませんが、机上の知識だけではなく、人同士の関係性がとても大事だということを改めて実感する1年間になりました。研修を送るにあたり、上級医の先生方やコメディカルスタッフの方々には、温かく時には厳しくご指導いただき、充実した日々を過ごすことができました。また、診察のみでなく患者さんと様々なお話をさせていただく中で、地域について学ぶこともでき、どのようなことを希望・期待されているのかということを実際の声として聴くことができ、大いに今後の参考になるものとなりました。

この1年間でできるようになったことには限りがあると自分自身思っていますが、この恵まれた環境で1つずつ着実に知識や手技を習得し、今後も驕ることなく感謝の気持ちを忘れずに研修生活に臨んでいきます。そしてそこで得たものを、けんみん病院を受診される方はもちろん幡多地域の医療の向上のために役立てるよう、微力ながら尽力していきたいと考えています。

【初期臨床研修医2年目 宮内敦史】

先輩研修医の声

令和元年5月

長いようで短かった研修1年目があっという間に終了し春からは2年目の研修医になり、いよいよ後輩ができる立場になりました。

ちょうど一年前は、何をすればよいのか右も左も分からずとりあえず上級医の言った通りに検査や処方などをオーダーしていました。上級医の先生方と一緒に救急対応をさせていただいたり、病棟の患者さんを受け持たせていただいたりするなかで、次第に自分でできることも増えてきたと思います。

幡多けんみん病院は高知県西南部の患者さんだけではなく、愛媛県南宇和郡からも患者さんが来られるため様々な症例を経験することができます。また診療科同士の垣根が低く、他科にコンサルトしやすい環境だと思います。医師同士だけではなく、看護師・薬剤師などのコメディカルの方々との連携もスムーズであり、分からないことがあっても親切に教えてくださり、けんみん病院全体で研修医を育ててくれる体制が整っていると思います。

また、高知県は初期臨床研修病院がお互いに連携しているため、高知県内の病院で研修ができ、私自身も数か月間は外部の病院で研修をさせていただきました。けんみん病院にはない診療科などが経験できるため外部の病院で研修するメリットはありますが、やはりホームであるけんみん病院に帰ってきたときには、けんみんの良さを改めて実感することができます。

今年度からは2年目として、いままで先輩方がそうしてくれたように、後輩に質問された際にはしっかり教えられるような先輩になりたいと思っています。これからも初心を忘れず、日々精進して後悔の無いように研修生活を送っていきたいです。引き続きご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いたします。

【初期臨床研修医2年目 伊藤孟彦】



幡多の地で迎える二度目の春。けんみん病院での初期研修も折り返しとなりました。この一年間、本当に様々な経験をさせていただきました。自分が学生時代に感じたとおりの素晴らしい環境の中で、充実した日々を送っています。先日は桜が満開の中、同期の研修医と「四万十リバーサイドフルウォーク」に参加し、雄大な四万十川の景色を堪能しました。地元の方の温かい声援を受けながら、皆で無事に30kmのコースを完歩することができ、良い思い出となりました。

当院での研修を振り返ると、どんなことでもすぐ他科に相談できる環境は当たり前ではないし、恵まれていると日々感じています。また、例えば内科を回っているときに皮膚科の手術に入るなど、本当に自由度の高い研修をさせていただいており、スーパーローテーション型の研修をするには当院はベストではないかと思っています。

実際に働きだして、一番大変だと感じたのはやはり当直業務でした。一日の仕事をこなした後、夜の病院を守り、場合によっては不眠不休で次の日の業務へ向かう…幡多地域は医師不足であり、指導医と研修医の二人で全科の当直業務を担当する日もあります。バックアップのある環境で多くの症例にファーストタッチすることができ、かけがえのない経験を積める一方で、圧倒的な仕事量をこなす指

先輩研修医の声

令和元年5月

導医の先生を前に、自分にできるのだろうか？と不安になる日もあります。

しかし、改めて振り返ると初めは右も左もわからず、ただ指導医の先生の後ろについていただけだったことを思い出しました。今では少しずつではありますができることも増え、指導医の先生が「ときには振り返ることも大事だよ」とおっしゃった意味を実感しています。

改めて人に恵まれたこの環境で研修させていただける幸せを感じながら、後半戦も一步一步自分らしく成長していけたらと思います。

【初期臨床研修医2年目 田村康晃】

勉強したりたくさんの方のことを研修科にとらわれず学習できます。また先輩医師の方々に気軽に質問できる環境で自分の疑問に残った点があればその日に解決していくことができます。病院によって特徴や雰囲気は様々で、実際に働いてみないとわからないことも多いと思います。是非一度病院見学に足を運んでみてください。

【初期臨床研修医2年目 熊澤大記】



幡多けんみん病院での研修生活も1年が過ぎました。最初は慣れない業務もたくさんありましたが、尊敬できる先輩医師やコメディカルの方々に指導していただき医師として成長できた1年であったと思います。

あと1年しかありませんがさらに成長できるように日々勉強して行きたいと思います。

また、けんみん病院は自分の学びたいことを自分のペースで学習できる環境です。日中に救急外来や専門外来で研修したり、心電図や心エコーを